

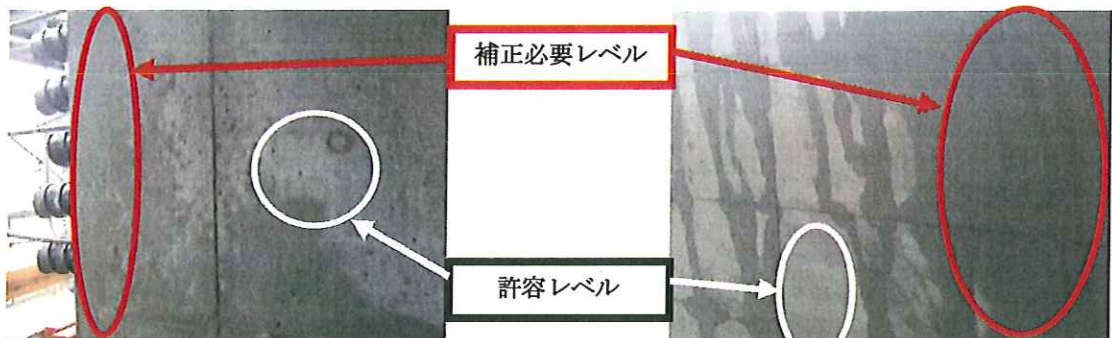
2227HP 保水テープの貼り込み作業標準

■作業手順

1. コンクリート表面のチェック

コンクリート表面が汚れていて保水テープが接着しにくい場合には、ほうきや濡れ雑巾などでコンクリート表面を清掃してください。保水テープが接着しやすくなります。

濡れの許容範囲は、下の写真を参考にし、目視と指で触って水が付かない事を判断基準とします。



2. 保水テープの貼り込み

① 貼り込み作業は、二人で行なうと効率的です。一人がテープを巻きだし、一人が貼り込み作業を行なってください。

※この際に、引っ張る側の作業者は、テープを引っ張りすぎないように注意してください。ピンと張った状態でテープを貼るのではなく、少したるませてテープを押さえていくイメージで貼りますとコンクリートへの接着がよくなります。

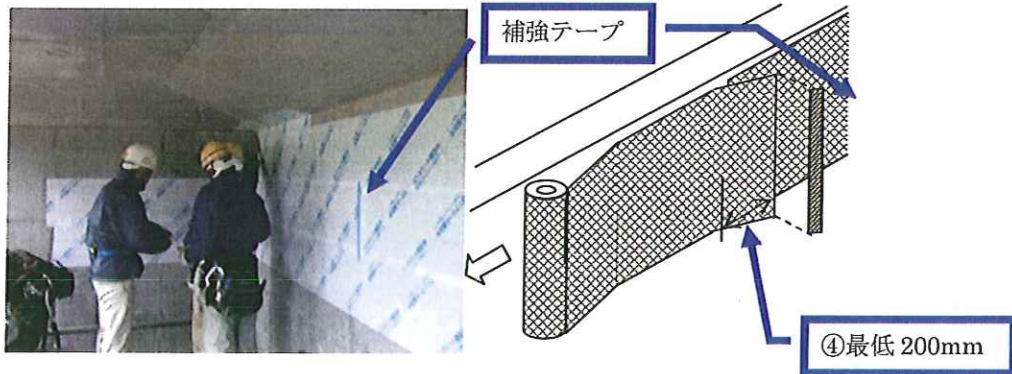


②保水テープは基礎の上部より5mm程度下げて、基礎よりはみ出ないように貼ってください。

③貼り込み作業の際には、洗出しブラシ等で軽く貼りつけた後にゴムへらなどを必ず使用してください。ゴムへらを使用して空気を抜くようにテープを貼ることできれいに貼ることができます。

④保水テープの貼り長さが長くなると、保水テープにシワがよりやすくなり、また斜めになってしまうやすくなります。約2~3m程度で適度に切断し、継ぎながら貼っていくときれいに貼ることができます。

→保水テープを継ぐ時は、テープ同士を200mm以上重ねてください。



【注意事項】

- 保水テープを貼り込む際には、テープをきつく引っ張って貼らないよう注意してください。貼り込み後にテープが収縮して剥がれてしまうことがあります。
- 保水テープを継ぐ時は、補強テープで補強することをお勧めします。保水テープがめくれにくくなります。
- また基礎上部にてテープの密着が悪い場合も同様の処置をすることをお勧めします。
→補強テープは、15mm幅以上の一般の養生用テープ、あるいは和紙テープを使用してください。

※ 住友スリーエム製和紙テープ#2480Sをお勧めいたします。

